#### 略 歴

昭和二十五年 三月

昭和二十八年 三月

昭和二十九年

Ŧī. 十年 六年

> 四月 六月

> > 東京文理大学哲学研究科修了 東京文理大学哲学科卒業

身延山短期大学講師

身延山短期大学図書館長 身延山短期大学教授

平成 昭和

四月



高か 橋は 堯;

本

籍

地

静岡県富士市今井二一七一一

昭ら 先生

生年月日 静岡県富士市今井二一七一一 昭和二年一月十九日

現

住

所

平成 七年 四月 身延山大学仏教学部教授

平成

十二年

三月

身延山大学名誉教授

学会及び社会における活動等

昭和三十 年 四月 日本仏教学会会員

昭和四十九年 四月 日本印度学仏教学会会員

研究業績

学術論文

思想とその基盤

戒とその基盤

単著

単著

昭和四十一年

五月

昭和四十一年

三月

身延山短期大学「棲神」第三九号 日本仏教学会編『仏教における戒の

問題」(平楽寺書店)

身延山短期大学「棲神」第四十号

日本仏教学会編『仏教と社会の諸問

身延山短期大学「棲神」第四三号 題」(平楽寺書店)

海のシルクロードと仏教

単著

昭和四十六年

三月

仏教と基盤社会との対応

単著

昭和四十四年 昭和四十三年 昭和四十二年

五月

三月 三月

身延山短期大学

「棲神」第四一号

単著 単著

七世紀初期の宗教事情と仏教の基盤

バールフット彫刻からガンダーラ仏へ

従地涌出 ―法華経神話の世界―		薬王品の一視点 ーその火焔を手がかりとしてー		ガンダーラ彫刻にあらわれた菩薩観	火と光(仏身観の変還)	ハーリティーとパンチカ像の背景	焔肩仏を手がかりとして	小乗の中の大乗		塔と僧伽 ーガンダーラ・アフガンの仏教遺跡―	ラダク(西チベット高原)その自然と文化	大唐西域記研究	ガンダーラ彫刻と大乗仏教の推移	パキスタン遺跡・バマラの塔と末法意識	従地涌出の宝塔を求めて	メキシコ中央高原文化について
単著	単著	I		単著	単著	単著	単著	単著	単著	I	単著	単著	単著	単著	単著	単著
昭和六十一年	昭和六十年			昭和六十年	昭和六十年	昭和五十九年	昭和五十八年	昭和五十六年	昭和五十五年		昭和五十四年	昭和五十二年	昭和五十一年	昭和五十年	昭和四十九年	昭和四十七年
三月	六月			三月	三月	三月	三月	三月	三月		三月	三月	三月	三月	三月	三月
身延山短期大学「棲神」第五八号	立正大学「大崎学報」第一三九号		(平楽寺書店)	日本仏教学会編『菩薩観』	身延山短期大学「棲神」第五七号	身延山短期大学「棲神」第五六号	身延山短期大学「棲神」第五五号	身延山短期大学「棲神」第五三号	身延山短期大学「棲神」第五二号		身延山短期大学「棲神」第五一号	身延山短期大学「棲神」第四九号	身延山短期大学「棲神」第四八号	身延山短期大学「棲神」第四七号	身延山短期大学「棲神」第四六号	身延山短期大学「棲神」第四四号

パンチカとハーリティに見る仏教の包容性 単著 昭和六十一年 三月 日本仏教学会編 「仏教と神祗

(平楽寺書店)

数々擯出 美と醜(ヤクシニーの底辺) 単著 単著 昭和六十三年 昭和六十二年 三月 三月 身延山短期大学「棲神」第六十号 身延山短期大学「棲神」第五九号

従地涌出の塔 ーガンダーラにおける東西文化の融合

夜叉信仰の背景 単著 平成

単著 平成 元 元 年 年 三月 三月 「印度学仏教学研究」第三七卷第二号 身延山短期大学 「棲神」第六一号

兜跋毘沙門天の背景 その成立の思想的意義

僧院から仏塔崇拝へ ―新発見の舎利箱銘文によって―

単著 単著

平成 平成

Ξ

年 年

三月 三月

身延山短期大学

「棲神」第六三号

身延山短期大学

「棲神」

第六二号

単著

平成

四

年

三月

身延山短期大学「棲神」第六四号

樹と釈尊

(東洋的自然観の考察)

信仰の二重性 ―ミトナ・飲酒・狩猟像の意味するもの

僧院と仏塔信仰 ーカロシティ銘文を手がかりとしてー 単著 単著 平成 平成 五 四 年 年 三月 三月 「印度学仏教学研究」第四十巻第二号

単著 平成 Ŧī. 年 三月 「印度学仏教学研究」第四一巻第二号 塚本啓祥還暦記念論文集【智の解逅】

仏塔信仰の二重性

諸律に記された「二仏・背の高い塔の博泥」の意味するもの ―クシャン社会の一考察―

単著 平成 **T**i. 年十二月 「印度学仏教学研究」第四二巻第一号

竜神信仰と仏教 一仏乗のもとに 単著 平成 年 三月 立正大学「大崎学報」第一五〇号

竜神信仰と仏教の包容性 単著 単著 平成 平成 七 六 年 年 三月 三月 「印度学仏教学研究」第四三卷第二号 身延山短期大学「棲神」第六六号

単著

平成

八

年

三月

**【勝呂信静博士古稀記念論文集】** 

仏乗のもとに―火神の包容―

水と火の総合 ―所謂ミラクル方でスラバスティを手がかりとして

カニシカ仏陀コイン「掌中の珠」の意味するもの 単著 平成 + 年十二月 「印度学仏教学研究」第四七巻第一号

単書 平成 十 年 三月 身延山大学仏教学会

「身延論叢」第三号

宝文館出版宝文館出版

一九九六年十二月

九九〇年

一月

風流説法

愛と思いやり

わかり易い法華経

その他(著書)

他、エッセイなど多数

(7)

### 略歴



現

住

所

山梨県南巨摩郡身延町身延三六〇〇番地

昭和二十七年 三月

立正大学仏教学部宗学科卒業

四月 身延山短期大学教授四月 身延山短期大学専任講師

昭和四十二年

昭和四十七年

平 平成 成

八七

年 年

四 四月

身延山大学図書館長

身延山短期大学図書館長

生年月日 昭和五年六月二十三日 本籍 地 山梨県南巨摩郡身延町身延三六〇〇番地 東 海 淑 先生

平成 八 年 四月 身延山大学仏教学部教授

平成 九 年 四月 身延山大学仏教学部長

+ 十二年 年 三月 九月 身延山大学名誉教授 博士(文学)号を立正大学より

平成

平成

# 学会及び社会における活動等

昭和三十一年 四月 日本仏教学会会員

四月 日本印度学仏教学会会員

昭和三十五年

# 研究業績

編・著書

仏跡をあるく

法華経の話

単書 昭和 四 + 年 三月 身延山樋澤坊

単著

昭和 五 十 年 月

昭和五十五年 昭和五十一年 五月 七月 昭和五十三年四月 山喜房仏書林 身延山樋澤坊 エール出版社 七面山敬慎院より再版)

白き蓮の道

単著 単著 単著

平成

年

四月

東方出版社

法華経における信の研究序説

よくわかる法華経

(10)

同 同右 右	法華経における女人成仏	一念信解	原始分法華経における般若波羅密	虚空会と安楽行品	法華経の虚空について	法華経の虚空について	法華経の神力について		法華経の見宝塔品と従地涌出品における antarisa と	當於如来余深法中示教利喜について	学術論文	法華経における信と誓願の研究	私にとって法華経は	釈尊伝(新仏所行讃物語)
単 著著	単著	単著	単著	単著	単著	単著	単著	単著	tarişa ك	単著		単著	単著	単著
昭和四十年	昭和三十七年	昭和三十七年 一月	昭和三十六年 三月	昭和三十六年 一月	昭和三十四年十二月	昭和三十四年 六月	昭和三十三年 六月	昭和三十三年 三月	ākāśa について	昭和三十三年 三月		平成十 一年 六月	平成 八 年 八月	平成 四 年 四月
身延山短期大学「棲神」第三九号身延山短期大学「棲神」第三七号	身延山短期大学「棲神」第三六号	印度学仏教学研究第十巻一号	身延山短期大学「棲神」第三四号	「印度学仏教学研究」第九卷一号	身延山短期大学「棲神」三三号	立正大学「大崎学報」第一一〇号	立正大学「大崎学報」第一〇三号	「日本仏教学会年報」第二三号		身延山短期大学「棲神」第三二号		山喜房仏書林	山喜房仏書林	宝文館出版

法雲・法華義記における信	竺道生・妙法蓮華経疏における信	世親「妙法蓮華優婆提舎」における信	随喜功徳品について	法華経に見られる śraddhā と adhimukti		法華経に見られる浄土	adhimukti ع śraddhā	信に関する一考察	碑銘幻想(カールリ・カーンへり見学報告)	碑銘幻想	一切衆生の幸福と安楽のために	受持について	五種法師についての一試論	法華経における女人成仏		法華経の分別功徳品にあらわれた行について
単著	単著	単著	単 著	単著		単著	単著	単著	単 著	単著	単著	単著	単著	単著		単著
昭和五十七年	昭和五十六年	昭和五十五年	昭和五十四年	昭和五十三年		昭和五十二年	昭和五十年	昭和五十年	昭和四十九年	昭和四十八年	昭和四十七年	昭和四十六年	昭和四十三年十一月	昭和四十一年		昭和四十年
三月	三月	三月	三月	三月		三月	十月	三月	二月	三月	二月	二月	<u>-</u> 月			三月
身延山短期大学「棲神」第五四号	身延山短期大学「棲神」第五三号	身延山短期大学「棲神」第五二号	身延山短期大学「棲神」第五一号	身延山短期大学「棲神」第五十号	思想」(平楽寺書店)	日本仏教学会編『仏教における浄土	身延山短期大学「棲神」第四八号	身延山短期大学「棲神」第四七号	身延山短期大学「棲神」第四六号	身延山短期大学「棲神」第四五号	身延山短期大学「棲神」第四四号	身延山短期大学「棲神」第四三号	身延山短期大学「棲神」第四一号	身延山短期大学「棲神」第四十号	問題」(平楽寺書店)	日本仏教学会編『仏教における行の

法華経に見られる仏身観私論	法華経方便品の「敬信」の語をめぐって	日蓮聖人の「霊鷲山」をめぐって	法華経における信	「如是」について	白馬寺管見	「霊鷲山」考	法華経如来寿量品における「顛倒」考	法華経における生命観	【観心本尊抄】における本時考	嘉祥・法華義疏における信	大智度論における法華経の把握	「本ト願を立ツ」考		四信五品をめぐって	智顗・法華文句における信
単著	単著	単著	単著	単著	単著	単著	単著	単著	<b>単</b>	単著	単著	単著		単著	単著
平成 六 年	平成 五 年	平成 五 年	平成 五 年	平成 四 年	平成 三 年	平成 二 年	平成 一 年	昭和六十三年	昭和六十二年	昭和六十一年	昭和六十年	昭和五十九年		昭和五十八年	昭和五十八年
三月	十月	三月	三月	八月	三月	三月	三月	三月	四 月	三月	三月	三月		六月	三月
立正大学「大崎学報」第一五〇号	田賀龍彦編『法華経の受容と展開』	「日蓮教学研究所紀要」第二十号	身延山短期大学「棲神」第六五号	【日本の仏教】 山喜房仏書林	身延山短期大学「棲神」第六三号	身延山短期大学「棲神」第六二号	身延山短期大学「棲神」第六一号	身延山短期大学「棲神」第六十号	<b>『仏教史仏教学論集』</b> 野村耀昌博士古稀記念論文集	身延山短期大学「棲神」第五八号	身延山短期大学「棲神」第五七号	身延山短期大学「棲神」第五六号	『日蓮教団の諸問題』	宮崎英修先生古稀記念論文集	身延山短期大学「棲神」第五五号

法華経における女人成仏に就いて法華経における法の語の使用例

頂

単著

平成パ

八年

年 三月

「身延山大学東洋文化研究所所報」

年 三月

「身延論叢」創刊号

他、エッセイなど多数

•

#### 昭和三十三年 昭和二十八年 昭和二十六年

昭

四十年 刘

身延山短期大学助教授



略 歴

四月 三月 三月 身延山短期大学専任講師 身延山専門学校卒業 立正大学文学部史学科卒業

身延山短期大学学園評議員 身延山短期大学教授

昭和四十七年

二月

昭和四十 和

年

四月 四月

> 町ま 本 生年月日 籍 田だ 地 是ぜ 昭和五年六月三十日 山梨県南巨摩郡身延町身延三三九二 正岩 先生

一番地

現

住

所

山梨県南巨摩郡身延町身延三三九二番地

昭和五十五年 二月 身延山短期大学仏教文化研究所所長

昭和五十八年 五月 立正大学日蓮教学研究所客員所員

昭和 六 十 年 二月 身延山短期大学図書館長昭和五十九年 二月 身延山短期大学学園理事

四 年 四月 立正大学法華文化研究所特別所員

平成

平成

七

年

平成十二年

三月

身延山大学名誉教授

四月 身延山大学仏教学部教授

学会及び社会における活動等

昭和二十八年十一月 日本仏教学会会員

昭和二十八年十一月 民主,已董奏員昭和二十八年十一月 東京大学史学会会員

昭和四十三年十二月 民生・児童委員

昭和四十九年

四月

身延町社会教育委員会委員

昭和五十二年 四月 立正大学史学会会員

平成 四 年十一月 『早生大臣特別表彰を受ける昭和五十三年 四月 『身延町文化財審議会委員(委員長)

平 平成 成

九四

年

四月

身延町社会福祉協議会会長

# 研究業績

# 編・著書

日蓮聖人と身延山・第七巻(日本仏教の心・全十二巻)

共著 昭和五十六年 三月 身延山久遠寺 ぎょうせい

身延山秘話外史 身延山史年表 単著 共編 平成 昭和 六 十 年十二月 年 五月

日蓮聖人にみる宗教思想

祖山・身延中興の祖・行学朝師の業績 目で見る峡南の百年 共著 共編 平成 平成 + Ŧi. 年 年 五月 六月 郷土出版社 **【行学院日朝上人】(身延山久遠寺)** 

単著

平成

五

年

四月

宝文館出版身延山延寿坊

中国農村に於ける法意識の変革 解放前夜に於ける中国農村の生活 単著 単著 昭和三十一年 昭和二十九年 八月 八月 身延山短期大学 身延山短期大学 「棲神」第三一号 「棲神」第三十号

学術論文

マックス・ウェーバーに於ける「資本主義の精神」の研究

H

Ś

華北村落に於ける宗教意識について 単著 単著 昭和三十三年 昭和三十二年 九月 八月 身延山短期大学「棲神」第三三号 身延山短期大学「棲神」第三二号

キュアビー中国史学の基礎(翻訳)(E. Stuuart Kirby; The foundation of Chinese history)

(17)

日蓮聖人の時間論 ー「今本時」の意味ー	道元の「時」の観念 ―有時について―	マヌ法典にみる雑種階級	身延山墓碑史考。—江戸期諸大名関係—	麦積山石窟寺院について	同右 (四)	同右 (三)	同右 (二)	日蓮聖人にみる人間観(一)		末法思想に関する試論		マックス・ウェーバーの社会科学法論の一冊	同右	同右	華北農村の家族制度について	
単著	単著	単著	単著	単著				単著		単著	単著	一研究			単著	単著
昭和五十五年	昭和五十四年	昭和五十三年	昭和五十一年	昭和五十年	昭和四十九年	昭和四十八年	昭和四十七年	昭和四十六年		昭和四十四年	昭和三十八年		昭和四十一年	昭和三十七年	昭和三十七年	昭和三十六年
三月	三月	三月	二月	二月	三月	二月	二月	三月		八月	十月		月	八月	二月	月
身延山短期大学「棲神」第五二号	身延山短期大学「棲神」第五一号	身延山短期大学「棲神」第五十号	身延山短期大学「棲神」第四八号	身延山短期大学「棲神」第四七号	身延山短期大学「棲神」第四六号	身延山短期大学「棲神」第四五号	身延山短期大学「棲神」第四四号	身延山短期大学「棲神」第四三号	問題点』(平楽寺書店)	日本仏教学会編『鎌倉仏教形成の	身延山短期大学「棲神」第三七号		身延山短期大学「棲神」第三九号	身延山短期大学「棲神」第三六号	身延山短期大学「棲神」第三五号	身延山短期大学「棲神」第三四号

	網要導師の宗学意識	生死観の種々相	宗教倫理の実践と受持信行	甲斐河内領穴山氏の支配構造	東西文化の源泉 ―霊性交流と愛―		日蓮の時間論		マックス・ウェーバーに於ける禁欲的宗教倫理について	日連聖人における時機観		日蓮における時機観		立教誓願と霊性	誓願と霊性 一日蓮の誓願の意味―	修道督願と霊性
	単著	単著	単著	単著	単著		単著	単著	理につい	単著		単著		単著	単著	単著
	昭和六十三年	昭和六十三年	昭和六十二年	昭和六十二年	昭和六十年		昭和六十年	昭和六十年	τ	昭和五十九年		昭和五十八年		昭和五十八年	昭和五十八年	昭和五十五年
	十月	三月	三月	三月	九月		九月	三月		三月		十月		六月	三月	十月
立正大学「大崎学報」第一四六号	日蓮教学研究大会特別記念講演	身延山短期大学「棲神」第六十号	身延山短期大学「棲神」第五九号	身延山短期大学「棲神」第五八号	立正大学史学会「史正」第十四号	衆生論』(平楽寺書店)	渡辺宝陽編『法華仏教の仏陀論・	身延山短期大学「棲神」第五七号		身延山短期大学「棲神」第五六号	観』 (平楽寺書店)	日本仏教学会編『仏教に於ける時機	の諸問題』(平楽寺書店)	宮崎先生古稀記念論文集『日蓮教団	身延山短期大学「棲神」第五五号	身延山短期大学「棲神」第五三号

法華経の実践倫理と菩薩行		六牙院日潮上人の功業と著作		法華経にみる実践としての智慧		波木井南部実長と身延山		古代インドの歴史意識		玄奘の苦難の旅路とその業績(翻訳)燕羽	智慧と慈悲(下)	智慧と慈悲(中)	智慧と慈悲(上)	武田・穴山両氏の対身延山政策
単著		単著		単著		単著		単著	単著	燕羽「玄奘的難苦経歴及其貢献」			単著	単著
平成十 一年		平成		平成		平成		平成	平成	苦経歴	平 成	平 成	平成	平成
+ -		九		九		九		八	六	及其言	五	四	Ξ	=
年		年十		年		年		年	年	献」	年	年	年	年
		年十一月		月		三月		月	三月	(北京・				三月
勝呂信静・佐々木孝憲共編	(身延山久遠寺)	「みのぶ」六牙潮師特輯号	【日蓮教学の諸問題』(平楽寺書店)	浅井円道先生古稀記念論文集	創刊号	「身延山大学東洋文化研究所所報」	(山喜房佛書林)	<b>『勝呂信静博士古稀記念論文集』</b>	身延山短期大学「棲神」第六六号	(北京・新知山聯書店)	身延山短期大学「棲神」第六五号	身延山短期大学「棲神」第六四号	身延山短期大学「棲神」第六三号	身延山短期大学「棲神」第六二号

立正大学 法華経文化研究所 「法華経の思想と展開」

単著

「身延山大学東洋文化研究所所報」

その他

On the Vows and Spiritual

昭和五十八年 九月

第三一回国際アジア・アフリカ人文

科学会議(京都国際会館)発表

平成十二年 三月

他、エッセイなど多数

(21)

略 歴

昭和二十六年 三月 身延山専門学校本科卒業

四月 三月 立正大学大学院文学研究科仏教学専攻(修士課程)入学 立正大学仏教学部宗学科卒業

身延山短期大学講師

立正大学大学院文学研究科仏教学専攻(修士課程)修了(文学修士)

昭和三十九年 昭和三十二年 昭和三十二年 昭和二十八年 昭和二十八年

四月 四月 三月

身延山短期大学助教授

田だ 本は 昌ら

本 上沒 籍 地 先生

昭和五年十一月二十二日 山梨県南巨摩郡身延町下山二七九番地

生年月日

現

住

所

昭和四十七年 四月 身延山短期大学教授

昭和五十四年 四月 身延山短期大学図書館長

昭和五十九年 五月 学校法人身延山短期大学学園評議員 学校法人身延山短期大学学園理事

平成 平成 七

Ŧi. 年 四月

年 四月

年 四月

平成

七

平成

+

年

十月

平成十二年

三月

身延山大学名誉教授

身延山大学東洋文化研究所長 身延山大学仏教学部教授

博士(文学)号を立正大学より

学会及び社会における活動等

昭和二十九年 昭和二十七年 三月 四月 上沢寺住職

昭和三十四年十二月 民生・児童委員 (十期) 身延山高等学校教諭

昭和四十四年 四月 日本仏教学会理事

昭和五十三年 昭和四十四年十一月 四月 日本印度学仏教学会評議員 立正大学日蓮教学研究所客員所員 身延山短期大学海外視察派遣教授としてインド・ネパール・タイ等東南アジア各国を歴訪

昭和五十四年

四月

昭和五十七年 十月 立正大学日蓮教学研究所 望月学術賞受賞

昭和 六 + 年 十月 立正大学仏教学会監事

六十 年 九月 日蓮宗中国訪問使節団として、 天台山を始め主要都市を訪問す。

平成 月

元 年 四

昭和

Ξ 华

日蓮宗勧学職

三月 厚生大臣表彰

六月

Ξ

年

年

ジュネーブの国際宗教者集会に出席、

3

ロッパ各国を訪問。

立正大学法華経文化研究所特別所員 南米開教四十周年記念大会副団長としてブラジル訪問。

身延町文化協会々長

日蓮宗山梨県第一部宗務所長・山静教区長

研究業績

平成 平成 平成 平成 平成 平成

+ -

年

五月 四月 十月 四月

八

年

六 [7]

年

編・著書

日蓮聖人における法華仏教の展開

単著

昭和五十七年

十月

平楽寺書店

国際情報社

単著 単著

昭和五十七年

平成 Tī. 年

三月 九月

春秋社

年

共著

平成

Ŧī.

日連教学とその周辺 日蓮聖人全集第四巻 日連聖人の救済観

十月 山喜房仏書林

(25)

「俳諧文学」 【仏教文学講座】第九巻 共著 平成 六 年 八月 新典社 勉誠社

法華経に現れた仏子について 日蓮聖人と守護神信仰 俳諧文学と仏教」「仏教文学の構想」 学術論文 単著 単著 共著 平成 昭和三十七年 昭和三十四年十二月 八 年 三月 七月

日蓮聖人の信について

日蓮聖人の儒教観

日蓮教学における開会思想

単著

昭和三十九年

三月

「印度学仏教学研究」

単著 単著

昭和三十八年十二月

日本仏教学会編「仏教における信の

身延山短期大学「棲神」第三三号

昭和三十八年

三月

「印度学仏教学研究」 「印度学仏教学研究」

第二三号 第二〇号

単著

昭和四十三年

三月

望月歓厚編『近代日本の法華仏教』

第十二巻第一号

文学、

芸能に現れた日蓮聖人

単著

昭和四十六年

単著

十月 二月

宮崎英修編 【日蓮聖人研究

身延山短期大学「棲神」第四三号

(平楽寺書店

日蓮聖人の慈悲について

EIIORA と AJANTA の石窟寺院

昭和四十七年

単著

法華経と文学

昭和四十七年十一月

講座日蓮I【日蓮と法華経

(平楽寺書店)

(26)

諸問題 (平楽寺書店)

日本仏教学会編『社会倫理と仏教の	昭和五十八年 二月	単著	日蓮聖人における衆生済度とその機能
身延山短期大学「棲神」第五一号	8 昭和五十四年十二月	単著	身延山晩年における日連聖人
第二六巻第一号			
「印度学仏教学研究」	昭和五十二年 七月	単著	阿仏房について
身延山短期大学「棲神」第四八号	昭和五十二年 三月	単著	弘安初期の日蓮聖人
思想」(平楽寺書店)			
日本仏教学会編『仏教における三昧	昭和五十一年十一月	単著	日蓮聖人における唱題と三昧について
(平楽寺書店)			
野村耀昌編『法華経信仰の諸形態』	昭和五十一年 三月	単著	日本文学と法華経
身延山短期大学「棲神」第四七号	昭和五十年 九月	単著	身延山中期における日蓮聖人
『日連教学の諸問題			
茂田井先生古稀記念論文集	昭和四十九年十二月	単著	日蓮聖人における仏国土思想
(平楽寺書店)			
影山堯雄編『中世法華仏教の展開』	昭和四十九年十二月	単著	日連聖人遺文註釈の動向
(平楽寺書店)			
日本仏教学会編『仏教教団の諸問題』	昭和四十九年 十月	単著	日蓮教団における法難の問題
(春秋社)			

宮崎先生古稀記念論文集 機能」(平楽寺書店)

日蓮教団の諸問題

身延山短期大学「棲神」第五五号

弘安後期の日蓮聖人

身延山における日蓮聖人の教学

単著 単著

昭和

六

+

华

二月

昭和五十八年十二月

日蓮聖人身延入山の研究

単著

昭和六十八年

六月

中村瑞隆博士古稀記念論文集

「仏教学論集」(春秋社)

渡辺宝陽編【法華経の仏陀論と

六十年

九月

単著

昭和

日蓮聖人の仏陀観

**『民衆宗教史叢書』第九巻 (雄山閣** 衆生論」(平楽寺書店)

(28)

野村耀昌博士古稀記念論文集

単著 昭和六十三年 昭和六十二年

身延山と天台山

日蓮聖人の「身延霊山」考 近世文学と鬼子母神信仰

**一四山をめぐってー** 

単著

昭和六十二年

四月

単著

昭和

六

+

年

十月

単著 単著

昭和六十三年

三月

日本仏教学会編『仏陀観』

三月 六月

身延山短期大学「棲神」第六十号

立正大学「大崎学報」第一四三号

仏教史仏教学論集』(春秋社)

平成

単著

年

三月

身延山短期大学「棲神」第六一号

(平楽寺書店)

日連聖人中期の曼荼羅

日蓮聖人の仏陀観

日連聖人初期の曼荼羅

法華経に現れた一心について 日蓮聖人晩年に弟子へ与えられた遺文について 身延山から弟子に与えられた日蓮聖人の遺文について 日蓮聖人後期の曼荼羅について 法華経に現れた法師と化人 **「身延山晩年に弟子に与えられた宗祖の遺文について」** |身延山の日蓮聖人と檀信徒| 一日蓮聖人最晩年の曼荼羅について」 弘安四・五年を中心として一 単著 単著 単著 単著 単著 ―弘安一・二年を中心として― 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 **―弘安三年から五年にかけて―** 八 九 八 八 六 Ξ \_\_ Ŧi. 四 年 年 年 年 年十二月 年 年十二月 年 年 二月 三月 三月 三月 三月 三月 三月 身延山短期大学「棲神」第六二号 立正大学「大崎学報」第一五〇号 身延山短期大学 身延山短期大学 「印度学仏教学研究」 「印度学仏教学研究」第八九号 「身延論叢」 【勝呂信静博士古稀記念論文集】 "日蓮教学の諸問題』 (平楽寺書店 浅井円道先生古稀記念論文集 」創刊号 「棲神」第六五号 「棲神」第六四号 第四○巻第一号 (山喜房佛書林)

「日蓮聖人遺文に現れた波木井氏」

平成

九

年

三月

「身延山大学東洋文化研究所所報」

創刊号

「身延期における日蓮聖人の如説修行」 「日蓮聖人教学研究の現状と展望」 平成 平成 + + 年 年 三月 三月 立正大学「大崎学報」第一五四号 「身延論叢」第三号

「元祖化導記(上巻)に現れた御遺文について」

平成十 一年

三月

「身延山大学東洋文化研究所所報」

第三号

その他

身延山における日蓮聖人 単独 昭和五十八年 九月 国際東洋学会 第三一回アジア・

北アフリカ人文科学会議)

(於京都市国際会議会館)

平成八年一月号より連載 月刊『在家仏教』

日本文学に現れた法華信仰

単 独独

平成十年五月号より連載

身延の日蓮聖人

他、エッセイなど多数

月刊【法華】

(30)